

今年も盛大にミヤークツツが行われました



すまだてい
だより

発行者
NPO 法人いけま福
祉支援センター
電話：75-2870

10月24日から26日の3日間
(旧暦8〜9月の最初の「きのこまつ」
の日)、池間島最大のまつり、ミヤーク
ツツが開催されました。
各ムトウでは、ウヤたちが集まり、
「ウヤタツサリ・・・」と挨拶がくり
ひろげられ、池間民族先輩後輩の絆を
深めました。



ミヤークツツには島が数センチ沈む
と言われるくらい、島に帰ってくる人
はもろろんのこと池間島に關係のある
人たち、観光客と多くの人が訪れ活気
で溢れます。島のあちこちでは、再会
を喜ぶ人たちに会います。水浜広場
で行われたクイチャーにもたくさんの方
々が踊り、奉納できました。
今年のウイディウヤは昭和40年
生のみなさん、アトウヌヒには各家で
お祝が行われ、にぎやかな3日間を締
めくりました。



「今年の演芸会は上等だったさー」



第8回池間島大演芸会

10月24日(木)のミヤークツツのア
ラビに第8回池間島大演芸会が、池間島離
島振興総合センターの大ホールで行われ
ました。会場はこれまでにない多くの観客
で賑わっていました。お子さん連れの家
族も多く見られました。
プログラムも16演目あり、幕開けの
「かぎやで風」は、美しい琉装でゆつくり
とした見事な舞いを披露してくれました。



サンシンあり、創作舞踊、
エイサー、そして、「池間の
主」のフラダンスはとてもい
いと評判でした。
?年生の懐メロに乗って
のお馴染みの踊りは今回で
4回目です。
ンビヤイン・・・でも、
マドロスは、会場からアンコ
ールの声が拍手と共に響い
ていました。

その後も舞台では、還暦を迎えた?年生40
名や初出親の?年生50名の皆さんがそれぞれ
舞台狭しと、元気いっぱい、笑顔いっぱい、明
るく、愉しく、少年少女のように、はちきれん
ばかりに踊っていました。
ヤグミフカラスムヌイー



最後まで会場は、多く
の人でいっぱいでした。
帰り際「今年は上等だっ
たねー」と、あちこちか
ら感想の音が聞こえて
きました。
スティガフウ

来年も皆さんの元気いっぱいの踊り、そして、
元気いっぱいの笑顔にお会い出来ること楽しみに
待っています。
皆さん 本心に ありがとう ございました。



マイフガ♡ 池間っ子



10/31 池間幼稚園生 ハロウィン パレード

ハロウィンパレードを終えて
 私たち、池間幼稚園ではハロウィンパレードで10カ所のお宅を訪問しました。その中のひとつがきゅ〜ぬふからしゃさんです。いつも「みんなのおうち」では子どもたちが大変お世話になっております。今回、ハロウィンの日に突然仮装した子どもたちが現れ、おじいちゃん、おばあちゃんは驚いたことでしょうね。でもみんな顔なじみで名前も知っている仲なので笑顔で穏やかに迎えていただきました。「おかしをくれなきゃいたずれしちゃうぞ〜」の台詞に「こわい〜こわい」と言ってくれたみなさん、沢山のお菓子を準備していただきありがとうございました。子どもたちは帰る頃にはバックにいっぱいのお菓子を持って大満足のハロウィンとなりましたよ。これからも、子どもたちが元気パワーをお届けしますので、おじいちゃん、おばあちゃん、地域の皆様、どうぞよろしくお祈りいたします。
 池間幼稚園 担任 根間 玲香

11/8 幼小中合同 ユニムイ発表会

日頃の学習の成果を
みんなで発表しました。



11/18 池間小児童 放流体験学習

水浜からタマンの幼魚 416 匹を放流しました。



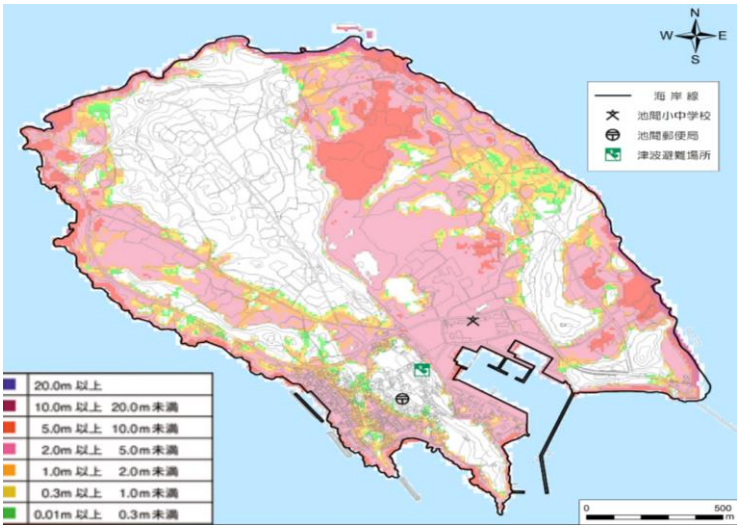
大きくなって
帰ってきてね〜

池間地区防災計画づくり

～防災＝地域の未来づくり・防災ローカルルールを島人の手で～

11/5は「津波防災の日」でした。池間自治会は、内閣府より今年度の地区防災計画の策定に向けた支援対象地区（全国7地区）に選出されており、7/14より定期的に防災センターで内閣府から派遣されたアドバイザーを迎え池間島における防災計画づくりの話し合いを行っております。沖縄県の地区が対象となるのは今年度初めて、宮古島市の池間地区と伊良部南地区、そして北谷町の美浜と謝刈地区です。11/5、6に東京の内閣府で行われた地域防災の会合に参加、現在の取組状況の報告と情報交換や意見交換を行ってきました。多様な地域特性による課題はその地区それぞれですが、池間島の課題とリスクが整理されてきました。次回、来年1月12日(日)14時より防災センターで内閣府・宮古島市・アドバイザー鍵屋先生・池間住民との参加で、第3回目のより具体的な防災計画策定にむけてのワークショップが行われます。まずは自分自身の命を守る備えと生き残る方法をお考えの上、ぜひ池間の未来づくりにご参加ください。

<災害リスク>
 ・集落の大半で～5mの浸水が予測されている(津波浸水想定地区の建物82.7%)
 ・島内は標高が低く、高いところが少ない
 ・明和の大津波から200年経過
 <課題>
 ・離島県の離島市に属する小離島で、要援護者が多く、昼夜の人口が変動(島外での仕事、観光客・遊泳客)



<池間島の津波想定>
 ・震度6弱地震後15～35分で第一波到達
 ・浸水深6～10m
 ・最大遡上高17.3m(津波が海岸から内陸へ駆け上がる時の高さ)

<これまでの島人の討議内容>
 ・避難の自分ルールを考える。自分の命を守る行動と備え(どこに、どうやって、なにをもってにげるか)
 ・『自分の命が大切』その上で「身近な人を助ける」を考える。
 ・生き延びた後の避難生活を考える。

- 今後の予定
- 11月23日(土) 漁民運動会(佐良浜小学校)
 - 11月30日(土) 植樹イベント(いけま島おこしの会)
 - 12月1日(日) 池間民族の集い(西原)
 - 12月1日～3日 滋賀県日野高校民泊
 - 12月4日～5日 大阪府立高槻北高校民泊
 - 12月10日～11日 池間中学校東京修学旅行
 - 12月12日～13日 茨城県八千代高校民泊
 - 12月16日～17日 茨城県日立工業高校民泊
 - 12月25日(水) 池間幼少中学校終業式